

## 創出者情報

創出者名（代表申請者）：NPO法人SEA藻  
共同申請者/実施者：南伊勢町、紀北町、  
株式会社paramita、三重外湾漁業協同組合、  
三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所  
担当者連絡先：鈴木  
TEL：052-715-4417  
E-mail：[seamo@suzuki-diving.co.jp](mailto:seamo@suzuki-diving.co.jp)  
URL：ジャパンプルーエコノミー研究所（JBE）  
<https://www.blueeconomy.jp/credit/>

## カーボンクレジット概要

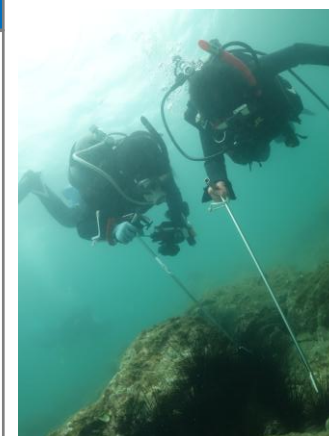
カーボンクレジットの種類：Jブルークレジット®  
プロジェクト名：三重県熊野灘における藻場再生・維持活動  
対象生態系：海藻  
プロジェクト区分：自然基盤・人口基盤・吸収源の新たな創出・吸収源の回復、維持、劣化抑制  
プロジェクト期間：2015年4月から現在まで  
申請対象期間：2017年5月から2025年5月  
創出予定の総量：未定  
創出したクレジットの総量：98.7トン-CO2（2022年度から2024年度）  
直近の取引実績：なし

## 創出地域



## 創出したカーボンクレジットの紹介

- SEA藻は南伊勢町、紀北町、三重外湾漁業協同組合、三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所と協同で2015年からウニ類（ガンガゼ）の駆除活動を実施してきました。
- 本プロジェクトの対象としている三重県熊野灘海域において、ウニ類（ガンガゼ）を駆除することで海藻が増加すると報告（倉島ら、2014）された手法を用い、最も効率的なスキューバダイビングによる駆除活動を継続して行ってきました。活動は一般ダイバー、三重大学ダイビングサークル、愛知県立三谷水産高等学校生等のボランティアダイバーの力を借りて実施してきました。その他、海藻の種を出す母藻の設置や芽（種苗）の取り付けを行ってきました。
- 藻場を維持するためには徹底した駆除及び継続の必要があると考えています。ボランティアダイバーの参加費を通常のダイビングツアーと比較して低価格に設定して参加しやすくしており、掛かる経費（器材レンタル費や保険料、交通費等）を民間団体からの助成金等で賄っていますが、目に触れる機会の少ない海洋環境の保全への助成は限られているのが現状です。カーボンクレジットの販売により、外部の助成金等に拠らない持続可能な活動資金を得ることを目指しています。



駆除活動の状況



ガンガゼによる磯焼け



回復した藻場

## これまでの取組状況、今後の予定

対象地域におけるガンガゼの駆除数：1,976,920個体（2015年4月から2025年10月）  
2025年10月：2025年度プロジェクト申請  
審査認証委員会後、クレジット認証・発行予定

## カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

海洋に直接かかわる事業を行っている企業のほか、間接的にでもかかわっているまたは、現在全く海とかかわりのない企業にも広く海洋環境について関心を持っていただく機会にさせていただければと考えています。

# 三重の自然由来カーボンクレジット創出者の紹介（森林由来J-クレジット）

### 創出者情報

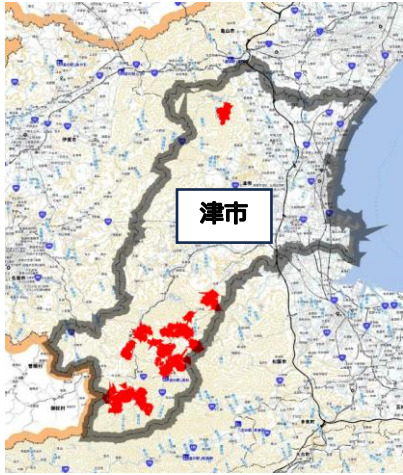
創出者名：中勢森林組合  
担当部署連絡先：企画課  
TEL：059-262-3020  
E-mail：[chusei@zvtv.ne.jp](mailto:chusei@zvtv.ne.jp)  
URL：<http://chusei-forest.jp/>



**中勢森林組合**

### 創出地域

津市 芸濃町河内・美杉町八知・美杉町川上  
・美杉町下多気・美杉町下之川・一志町波瀬



### これまでの取組状況、今後の予定

2024年11月：プロジェクト登録  
（森林所有者約260名のご同意のもと、約1,580haを登録）  
2026年8月：クレジット約7,700トン創出予定

### カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：J-クレジット（方法論：森林）  
プロジェクト名：第1期 三重の森からCO<sub>2</sub>吸収プロジェクト  
プロジェクト期間：2024年から2034年  
創出予定の総量：約70,000トン-CO<sub>2</sub>  
創出したクレジットの総量：0（2026年 約7,700トン創出予定）  
直近の取引実績：なし（2026年度～販売予定）



### 創出したカーボンクレジットの紹介

津市の森林は、市総面積の58.4%にあたる約41,500haで、うち98%が民有林、さらに森林所有者の90%以上が5ha未満という小規模の所有形態が特徴です。また、特に芸濃地域から美杉地域に続く西部山間地域においては古くから造林に取り組み、スギ、ヒノキ等の人工林率が市全体で82%を超える高い割合を占めています。

長年にわたる林業の収益性の低下は、所有者の森林経営意欲を薄れさせ、本来必要とされる手入れが行われず、放置される人工林はもはや珍しくありません。さらに世代交代が重なることで、自らの所有林の境界すらわからなくなる「**忘れられた森林**」は増加の一途をたどっています。こうした人工林放置は、水の供給の不安定化や自然災害リスクとなり得るなど、地域の住環境にも影響を及ぼしかねません。

行政の支援により森林整備は進められているものの、十分とは言えません。なにより大切なのは、森林所有者が自らの森林に価値を見出し、守り続ける意欲を取り戻すことです。そのためには、**森林の新たな価値**を発掘し、持続的に管理される仕組みづくりが求められていました。

そこで中勢森林組合は、**J-クレジット制度を活用した森林整備**の取組みを開始しました。

中勢森林組合のJ-クレジットは、**津市の森林を適切に管理することによって**生み出されるCO<sub>2</sub>吸収量です。クレジット販売の収益は次の森林整備へ再投資され、整備された森林から新たなクレジットが生み出される—その循環型の仕組みを構築します。



当該事業は、J-クレジット制度に登録されたプロジェクトとして、地球温暖化対策に貢献しています。



### カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

中勢森林組合の強みは、長年にわたり津市の森林地域と共に築いてきた「**強固なネットワーク**」と、森林・林業のプロフェッショナルとしての「**確かな森林管理能力**」にあります。これらの強みを最大限に活かし、わたしたちは地域の森林を未来へつなぐ**持続可能な森林経営**に全力で取り組んでいます。

このプロジェクトをより大きな循環へと発展させるためには、地域の実情をご理解いただき、取組みに参加して下さる企業様の存在が欠かせません。「三重の森からCO<sub>2</sub>吸収プロジェクト」は、ご賛同いただいた**企業様とともに未来の森林を育てる共同事業**です。わたしたちは、地域と森林の未来をともに支えるパートナー企業を広く募集しています。

**挑戦はまだ始まったばかりです。ぜひ、この循環をともに育てる力となってください。**

## 創出者情報

創出者名：大台町

担当者連絡先：大台町役場 森林課 岡本

TEL：0598-82-3794

E-mail：[shinrin@odaitown.jp](mailto:shinrin@odaitown.jp)

URL：[https://www.odaitown.jp/soshiki/yakuba/1\\_1/1/435.html](https://www.odaitown.jp/soshiki/yakuba/1_1/1/435.html)



## カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：J-クレジット（方法論：森林）

プロジェクト期間：2020年4月1日～2028年3月31日

創出予定の総量：13,209t-CO<sub>2</sub>

創出したクレジットの総量：5,256t-CO<sub>2</sub>（旧J-VER+J-クレジット= 11,447t-CO<sub>2</sub>）

直近の取引実績：166t-CO<sub>2</sub>（R6年度販売）総取引実績：6,732t-CO<sub>2</sub>を無効化

現在取引可能総量：4,715t-CO<sub>2</sub>

## 創出したカーボンクレジットの紹介

2004年に発生した台風21号豪雨による土砂災害の教訓から、森づくりを見直し、様々な取組を進めた中の一つがJ-クレジット（旧J-VER）でした。

大台町は町内全域が大台ヶ原・大峰山・大杉谷ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）に登録されており、町が管理する町有林約1,547haでJ-クレジットを創出し、企業と連携し町内の森林保全活動「多様性のある森づくり」を進めています。

## これまでの取組状況、今後の予定

2008年 大台町苗木生産協議会を設立し地域性苗木の生産を開始

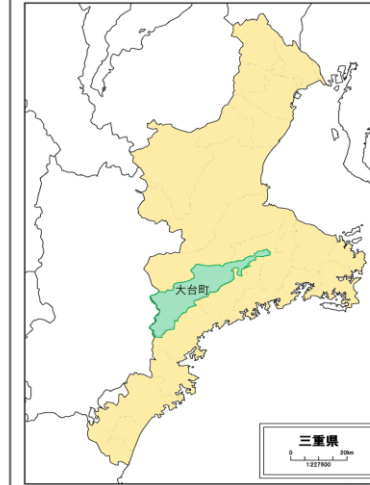
2010年 東海地区初 J-クレジット（旧J-VER）の創出開始

2013年 カーボン・マーケットEXPO2013で環境大臣賞（カーボンオフセット大賞）を受賞

2016年 カーボンオフセットを活用した企業の森をスタート

2022年 森林保全団体と企業が連携した多様性のある森づくりがスタート

## 創出地域



町有林から望む大台町内（総門山）



発芽した地域性苗木(クロモジ)



(ウリハダカエデ)



(ナンゴクミネカエデ)

## カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

大台町では企業様と連携し、多様性のある森づくりと地域活性化を連動させた森林保全活動に取り組んでいます。

カーボンオフセットの取引から、森づくりなどの森林保全活動といった、新しい取組や連携を熟考している企業様のご参加をお待ちしております。

ユネスコエコパークで多様性のある森づくりを一緒に取り組んでみませんか？

## 三重の自然由来カーボンクレジット創出者の紹介（森林由来 J-クレジット）

### 創出者情報

創出者名：三重県  
 担当者連絡先：  
 農林水産部 森林・林業経営課 西内  
 TEL：059-224-2564  
 E-mail：shinrin@pref.mie.lg.jp  
 URL：  
<https://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/m0116700223.htm>

### カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：  
 J-クレジット（方法論：森林）  
 プロジェクト期間：  
 令和5年度から令和13年度  
 創出予定の総量：8,564トン  
 創出したクレジットの総量：899トン（令和5年度分）  
 直近の取引：令和8年2月販売

### 創出したカーボンクレジットの紹介

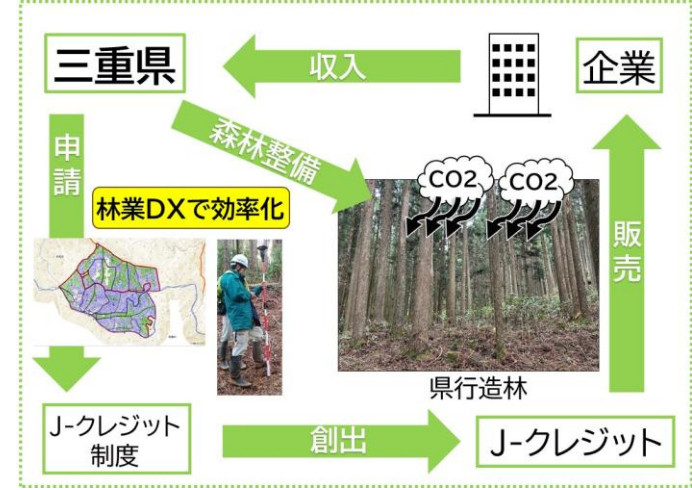
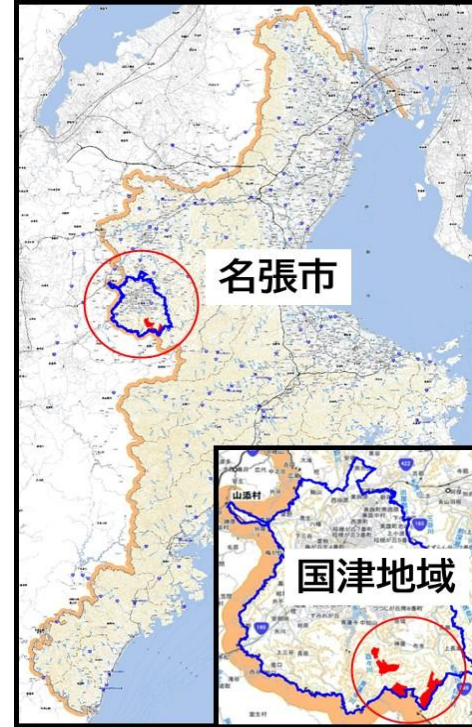
- ・本取組の対象とした森林は、三重県名張市の国津地域に位置し、面積は約223haで、そのほとんどがスギ・ヒノキの人工林により構成されています。
- ・対象森林は、県が樹木の植栽及び保育・管理を行う県行造林です。古いところでは、明治40年から造林を実施しており、100年の森として計画期間中、継続的な保育・管理を行っていきます。
- ・J-クレジットの収益を活用して森林整備を行い、長期にわたる持続可能な森林管理を目指します。

### これまでの取組状況、今後の予定

令和6年1月：プロジェクト登録  
 令和7年1月：クレジット899トン創出  
 令和8年2月：県HPで販売を実施  
 令和8年4月以降：今後も順次販売予定

### 創出地域

三重県 名張市（国津地域）



カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

県行造林で創出した J-クレジットを「美し国みえ森林 J-クレジット」として、令和8年から販売しています。  
 県の創出した「美し国みえ森林 J-クレジット」を購入することで、一緒に三重の森林づくりに取り組みませんか？